# 令和８年度　長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

| | |
|---|---|
| 名　称 | SSRⅡキャリアデザインツアー（普通科文系） |
| 期　日 | 令和８年 10 月８日（木）～９日（金） |
| 会　場 | 早稲田大学・東京外国語大学・お茶の水女子大学<br>ＪＴＢ・旺文社・外務省・東京地方検察庁・東証 Arrows・東京国立博物館 |
| 対　象 | ２年生普通科文系 |
| 目　的 | 大学や官公庁等の専門機関での模擬講義や施設見学を通じて、大学で学ぶ意義や学問の社会的役割に対する認識を深め、高校生活後半を一層充実したものにすることを目標とする。 |
| 内　容 | ・大学での講義体験や構内見学、本校卒業生との懇談<br>・班別探究学習<br>・企業や官公庁等の訪問、見学 |



早稲田大学では、４名の先輩方にお越しいただき、高校時代の体験談や大学生活の様子について話を伺いました。



東京外国語大学では、幸松英恵先生から、「『格』を通して日本語を再発見」というテーマで模擬講義を行っていただきました。



お茶の水女子大学では、鈴木禎宏先生から「太陽暦採用と生活文化の行方」というテーマで模擬講義を行っていただきました。




外務省では職員から担当国に関する業務や在外公館での仕事、外務省本省での仕事について説明を受けました。

| | |
|---|---|
| 感想など | （OB 懇談）<br>・OB の方の経験として高校生活の内容（部活動と勉強の両立の仕方など）を具体的に聞けて有意義だった。大学生活の話も生の声が聞けてとても参考になった。<br>・実際に大学生の方々から大学生活がどのようなものか、大学選びで大切なことなどを聞くことができた。<br>（模擬講義）<br>・とても興味深い内容の講義で、専門的な話をわかりやすく解説してくださったのがとてもよかった。ただ聞いているだけでなく自分で考えたり周りと意見を共有したりする時間があったのもよかった。<br>・普段詳しく学べないような内容（暦など)について深く学ぶことができ、“大学の授業”という貴重な体験ができたことに加えて、自分の中での興味の幅が広がった。<br>（企業等訪問）<br>・普段なら絶対入らないところに入れたり、実際に働いている方の話を聞くことができたりして、国際的に活躍するとは何かを考えることができた。また、将来国際的な仕事に就きたい私にとって、今必要なことを知ることができた。<br>・出版社の仕事は編集以外にもたくさんあると知ることができた。将来、どう社会に貢献していくのかを決めるにあたって、一つの例としてとても参考になりました。<br>・実際に企業を訪問し、そこで働いている方のお話を直接伺うことで、自分が将来どのように仕事をするかイメージし、“働く人”の作法を知ることが出来た。また、自分の興味のある分野の仕事について詳しく分かり、これからのキャリア形成について考えるきっかけとなった。<br>・今まで触れたことのない職業に触れることができたのと、被害者のために正義を貫き、東京で働く女性の姿にかっこいいと憧れを持ち、自分も仕事のできる大人になりたいと思えた。また、職場を決める際に育休等の制度がしっかりしているか確認したほうがいいと学ぶことができた。<br>・これから先に非常に大切となる株についてや、その仕組みを教えていただいて、またプレゼンテーションが自分がプレゼンする時のお手本のようなものになったので為になった。<br>・将来は教育関係の仕事に就きたいと考えており、出版業界にも興味があったため選んだ。教員以外の教育を支える仕事について知ることができ、私たちが日々利用している様々な参考書には多くのこだわりが詰まっているとわかりとても楽しかった。<br>・働きやすくするための工夫や、お客さんを招くために工夫していることを知ることができた。また、会社がどのような雰囲気のところで、どのようなことを求められているのかを知ることができた。<br>・企業に訪問するのはなかなかない貴重な機会だと思うのでとても良かった。事前にネットで企業を調べただけではわからないような、初めて知ることもたくさんあって、詳しいお話が聴けて良かった。 |